

9月の予定	
1	月
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火
24	水
25	木
26	金
27	土
28	日
29	月
30	火

*諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【7月度QMVP】——

●中3 N.K さん

成績がアップし、最高評価の「5」が増えてきました！まだまだいけるぞ！！

●中2 O.I さん

1学期成績が大幅にアップ！テストの点数も上がって、文句なしの大躍進！！

●小6 Y.S 君

理科・社会の小テスト点数が、少しずつですが上がってきています！目指せ！90点台キープ！！

9月行事について

- 土曜特訓** …受験生用の特別講座。入試に通用するテクニックを伝授します。
 - 俳句コンテスト** …生徒から俳句を募集。意外な才能が見つかるかも。

【 父の背中 】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。

夏本番！絶好調の暑さが続いていますね。なんてめーわくな（苦笑）

実家では法要があるのですが、今年も、仕事のため欠席です。

あれからもう何年も経つのですね。

大好きだった父が亡くなつてから…。

ある女性のお父さんが病気で長期間、入院していました。

彼女はお見舞いに行ってあげたいといつも思っていたのですが、

仕事で大切なプロジェクトを任されて忙しかったのと、遠く離れた実家の近くの病院だったので、なかなか行くことができませんでした。

ある晩、会社から家に帰ると、お父さんが入院している病院から、

「容態が悪化したので、すぐに来てください！」

というメッセージが留守番電話に残されました。

病院に急いで向かいながら彼女は、「こんなにすぐに容態が悪化するなんて思わなかつた。何で休みを取って会いに行かなかつたのだろう」と後悔していました。

残念ながら、お父さんは彼女が病院に着く前に、亡くなつてしましました。

病院の待合室で彼女が、

「お父さんに最後に会つてからもうずいぶんになる。私のことを忘れててしまつたかもしれない…。」

もう一度、お父さんと会つたかった

と、落ち込んでいると年配の看護婦さんに、

「あなたが○○さんの自慢の娘さんね」

と話しかけられました。だまってうなづく彼女に看護婦さんは、

「お父さんはいつも、私にはかわいい、娘がいてね。1人、遠くで頑張つて仕事をしてゐるんだよ。これは高校の時に、全国大会に出場した娘の写真が載つた新聞なんだ、と言つて新聞の切り抜きを見つけてくれたのよ…」

と話しました。

こんなにもお父さんに愛されていたことを知つて、彼女は涙が止まりませんでした。

私にも似たような経験があります。父の入院中、仕事にかこつけて、めつたに見舞いにも行きました。

父の容態が悪化したのを聞いた時でも、病院に駆けつけるでもなく、いつも通り、生徒相手に授業をしていました。

父の最後の時、私が病院に着いたときには、すでに父の身体は冷たくなつていました。

結局、入院後の父にはまともに顔を合わせていません。

親不孝な息子です。あんなにも愛されて育つたのに…。

でも、きっと優しかった父のことなので、私を責める気持ちは全くないでしょうね。むしろ、「仕事がんばれよ！」「おまえならなんでもやれる！」って激励してくれるのでしょうか。

いつでも暖かく見守ってくれた父の分も、私は私の信念を、この教育の場で貫いて生きていこうと思っています。

教育が人をつくり、国をつくります。
子どもたちが幸せになれるように、そして日本の未来に希望がともるようになります。

先ほどの彼女も、お見舞いには行けませんでしたが、

きっとお父さんの心の支えになっていたのだ
そして、お父さんが自慢してくれたことが、
それから彼女の心の支えになるのだと思いま

死は人と人を別れさせますが、愛してくれた気持ちは永遠に残ります。

私もこの歳になるまでに、ずいぶんと多くの人の愛情をもらって生きてきました。これからは自分が与える番です。

人って、愛されてきた深さの分だけは、人にも愛情を注いで、生きていいくのを、よきわ

熟長 山田 大介